

国立大学法人東海国立大学機構

(東海国立大学機構カーボンニュートラル推進室主催 記念シンポジウムを開催)

【概要】

2022年9月6日(火)に東海国立大学機構 カーボンニュートラル推進室主催の記念シンポジウムが開催されました。本シンポジウムは会場参加・オンライン参加合わせて250名を超える方にご参加いただきました。

本シンポジウムの第1部前半では当機構執行部による挨拶と文部科学大臣政務官 山本 左近 様よりご挨拶をいただきました。また、後半ではカーボンニュートラル推進室 西澤 泰彦 室長により、当機構内におけるカーボンニュートラル研究推進体制ならびに産学官連携推進案に関する説明が行われました。

第2部前半ではJST社会技術研究開発センター(RISTEX) センター長の小林 傳司 氏(大阪大学名誉教授)をお招きし、「総合知が求められる時代」と題してご講演いただきました。科学技術政策や社会の変遷、国内外での実際の取組を交え、なぜ「総合知」が求められるようになったか、カーボンニュートラルなどの社会的課題解決への貢献等、今後大学に期待される役割や、総合大学における文理融合を実現するための課題や解決のための指針についてご紹介いただきました。

第2部後半では小林 傳司 氏に当機構の教員4名と中部経済連合会 黒柳 考司 審議役を加えた6名により、「多様な知の協働による課題解決を目指して」というテーマで、パネルディスカッションを行いました。異なる専門分野を持つ教員や産業界からの様々な目線で、産学官による協働を実現するために必要な事項について議論を行いました。

第3部では当機構のカーボンニュートラル関連の研究を行っている教員と会場参加者を交えた情報交換会を行いました。また、会場外にてデジタルサイネージによる関係教員の研究紹介ポスターの上映を行いました。



文部科学大臣政務官 山本 左近 様 ご挨拶



シンポジウムの様子

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2022/9/7	中日	脱炭素研究組織の役割議論 名大, 岐大, 中経連がシンポジウム ～ 東海国立大学機構 ～